

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

October

10

2018年  
10月1日発行  
No.460

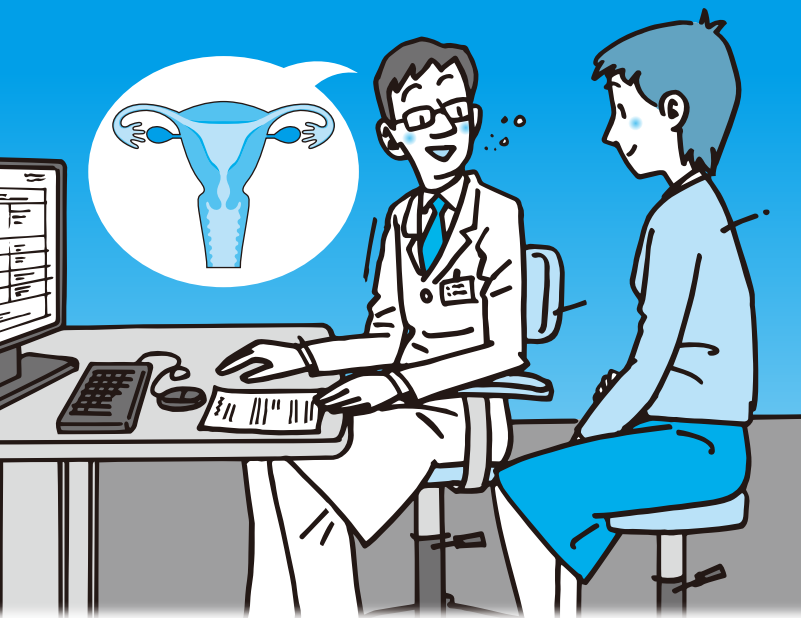
白 い ま ど

今月の色: さつまいも

特集

## がんに克つ!⑬ 子宮体がん P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 婦人科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト  
緩和ケア認定看護師（認定がん専門相談員） P-6



病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

がんに克つ!

# 13 子宮体がん

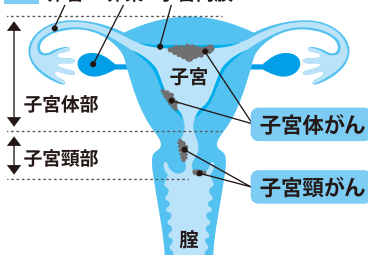
## 早期発見、早期治療が重要! 症状があったら受診を

日本人の2人に1人が一生のうちに一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します

### どのくらいの人がかかるの?

子宮にできるがんは腔内の子宮入り口にできる子宮頸がん、子宮奥の内膜にできる子宮体がんに分けられます。図1 子宮体がんは子宮頸がんと異なり、若年者には少なく40代後半から多くなり、発症ピークは50～60代です。女性が一生のうちにか

図1 卵管 卵巣 子宮内膜



かる頻度は100人あたり2人くらいです。子宮頸がんは100人あたりそれぞれ1人

くらいなので、子宮体がんは婦人科では最も頻度の高いがんです。ちなみに乳がんは100人あたり9人くらいです。

### どのような症状があるの?

子宮体がんの初発症状は、不正性器出血です。特に閉経後の不正性器出血は注意が必要です。症状が続いたら早めに近くの産婦人科を受診してください。ただし、不正性器出血があるからといってがんとは限りません。多くはホルモン不足による萎縮性炎症や尿道カルUNKルなど、良性疾患によることが多いです。怖がらずに産婦人科にかかることが大切です。

#### 子宮体がんの主なリスク因子

- 閉経が遅い
- 月経異常(月経不順、無月経)がある、もしくはあった
- 妊娠や出産経験がない、または少ない
- 肥満、高血圧、糖尿病
- 乳がんの既往

### どのような検診をするの?

通常の子宮がん検診で調べるのは子宮頸がんです。子宮体がんの検診は子宮内まで器具を挿入する必要があるので痛みを伴うことと、検査の感度

もあまりよくないため、一般的には不正性器出血や子宮内膜の異常肥厚など、子宮体がんが疑われる方を対象に行います。

## 治療は？

がんは「早期発見、早期治療」が治療の原則です。進行したがんは現在の医療でもなかなか治すことが難しいです。子宮体がんは早期に発見すれば、手術のみで完治でき、再発率も非常に低いです。現在、早期子宮体がんは腹腔鏡による手術が保険適用になっています。当院でも2016年4月から腹腔鏡下子宮体がん手術に取り組んでいます。開腹手術と異なり術後の痛みが少なく、リンパ節郭清\*まで行っても術後3日目には退院できます。また今年4月からは子宮頸がんに対しても腹腔鏡手術が保険適用となり、当院でも取り組みを始めています。そして将来的には子宮頸がん・子宮体がん治療へのロボット手術導入を目指しています。

\*郭清…がんがリンパ節を通して全身に転移することを防ぐために、手術の際、周囲のリンパ節を切除すること。

文責：婦人科 主任医長 小林 浩治

さらに詳しい情報などを、YouTubeの「聖隷浜松病院チャンネル「白いまど」」で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松

検索



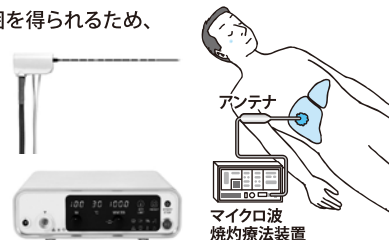
## 「マイクロ波焼灼療法装置」導入！

消化器内科では肝細胞がんのからだに優しい治療を行っています。

### マイクロ波焼灼療法

腫瘍に穿刺したアンテナを通じて熱により腫瘍を死滅させる治療です。

- 短時間で大きな焼灼範囲を得られるため、治療時間が短い
- 球型に焼灼できるため確実な焼灼が可能
- ペースメーカー装着患者さんにも治療が可能
- からだへの負担が少ないため高齢者の方も治療が可能



### イベント情報

参加無料・申込不要 お気軽にお越しください

### 《第5回》ホス地下 2階に あがりました！

病気や予防法についてのミニ講座です。

内容：高血圧、糖尿病、脂質異常

- ▶ 日 時 …… 2018年10月25日(木) 11:30～12:00
- ▶ 場 所 …… B棟2階 飲食休憩コーナー
- ▶ 出演者 …… 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師  
摂食・嚥下障害看護認定看護師  
慢性心不全看護認定看護師

### 新任 医師紹介



脳神経外科  
はやし まさたか  
林 正孝  
筑波大学  
(2005年卒)



脳神経外科  
うちだ だいき  
内田 大貴  
浜松医科大学  
(2012年卒)



消化器内科  
にわ ともゆき  
丹羽 智之  
浜松医科大学  
(2016年卒)

# 婦人科

婦人科悪性腫瘍手術も  
ていしんしゅう  
低侵襲手術の時代へ



低侵襲手術は創部\*縮小によって患者さんの負担を軽減して早期の社会復帰を目指す手術で、ふくくきょうか腹腔鏡下手術がその代表的なものです。以前より婦人科良性疾患（のうしゅ卵巣腫瘍・きんしゅ子宮筋腫など）に対して行っていましたが、2014年の子宮体がんに対する腹腔鏡下根治術を皮切りに、2018年から子宮頸がんに対しても行われるようになりました。当科も施設認定を受けて2016年から子宮体がん、2018年から子宮頸がんを導入しています。現状では、開腹手術と同等の効果（根治性）が得られる早期がんを対象として、安全性を確認しながら行っています。

また、最新の低侵襲手術であるロボット（ダビンチ）支援下腹腔鏡下手術を、子宮筋腫など良性疾患に対して開始しました。子宮頸がん・子宮体がんも導入を目指しています。今後もがんを含めた全ての婦人科患者さんの早期社会復帰に向けて、最大限の努力をしていきたいと思っています。

\*手術でできる創きず

文責：婦人科 部長 安達 博（前列左端）



## 緩和ケア認定 看護師 （認定がん専門相談員）

がん治療と日常生活の  
両立に向けて支援します!



婦人科がんとその治療は、生殖機能障害や他の身体機能の変化をもたらすことがあります。それらの障害は、見た目や、自分（女性）らしさ、家庭における妻・母親・娘・嫁としての

役割、職場における役割に影響します。女性の生き方や役割が複雑・多様化している現代社会で、私たちはそれぞれの患者さんに合わせたがん治療と日常生活の両立に向けて支援しています。見た目の変化としての脱毛（頭髪、眉毛、まつ毛）や皮膚、爪の変色には、ウィッグやケア用品の実物をお試しいただきながら、その方にあった対処方法を一緒に考えます。また、性の悩み、お子さんとの関わり方、親の介護などのお悩み相談もお受けしています。さらに、医療ソーシャルワーカーや臨床心理士なども連携して対応しています。



文責：看護師

梅田 靖子（写真下中央）、番匠 千佳子

医療  
ソーシャル  
ワーカー

臨床  
心理士



# 聖隷浜松病院からのお知らせ

## 初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,400円(税込)を別途ご負担いただいています。

また予約時には、原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

## 再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜9:00～16:45)

## 面会の方へ

面会時間…(月～土曜) 14:00～20:00、(日曜・祝日) 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。  
発熱/咳/痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

## ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

## 医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル 認証  
日本医療機能評価機構認定  
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明